

はじめに

長野市は、長野県北部に位置し、東西 36.5km 南北 41.7km、面積 834.81km²、人口 36 万 540 人の県都中核市です*。

長野市の上水道は、大正 4 年（1915 年）に旧上水内郡戸隠村（現長野市）に総貯水量 225,100 m³の貯水池を設け、延長約 16km の導水管を布設し、往生地浄水場において緩速ろ過方式で長野市街地に給水を開始したのがはじまりで、給水開始から 109 年を迎えました。

千曲川と犀川に挟まれた一部（県営水道区域）を除く地域が長野市上下水道局の給水区域となっています。給水人口は 259,125 人、給水普及率は 99.83%となっております*。

水源は、裾花川・犀川の表流水をはじめ伏流水、ダム水、地下水及び湧水と幅広く、大小 55 ヶ所の水源を使用しています*。

水質検査施設は犀川浄水場敷地内にあり、各浄水場をはじめ 給水栓、水源 及び 水源上流域の水質検査、漏水・お客様からのお問い合わせに伴う水質調査その他の水質管理に必要な各種検査を行っております。平成 26 年 12 月 24 日には、公益社団法人日本水道協会（JWWA）より「水道水質検査優良試験所規範（略称：水道 GLP）」の認定を取得しました（JWWA-GLP115）。

水道に対しては高い安全性・安定性が求められており、今日の水質諸問題に柔軟に対応できる水質検査態勢の充実を図り、適正な水質管理に努めています。

本水質年報は、令和 6 年度に実施した浄水場や水源、給水栓等の水質検査結果をまとめたものであり、今後の水質管理のための資料として、また環境保全活動の一助になることを期待するものです。

* 令和 7 年 3 月 31 日現在



JWWA-GLP115